令和7年4月定例教育委員会会議録

○日 時 令和7年4月24日(木) 午後3時00分～午後4時20分

○場 所 櫛引庁舎 3階 教育委員室

○出席委員 教育長 成澤 和則
1番 百瀬 克浩(教育長職務代理者)
2番 清野 康子
3番 中村 公俊
4番 小林 真貴子

○欠席委員

○出席議事説明職員氏名

教育部長	白幡 有	管理課長	石川 聡
学校教育課長	秋山 尚志	学校教育課指導主幹	落合 正幸
社会教育課長	五十嵐 依久子	参事兼藤沢周平記念館長	沼沢 紀惠
次長兼スポーツ課長	阿部 三成	中央公民館長	観世 安司
図書館長	五十嵐 恭子	給食センター所長	大塚 昌史

○出席事務局職員氏名

管理課課長補佐 上野 美嘉

【会議次第】

- 1 開会
- 2 市民憲章唱和
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 協議事項
 - 日程第1 教委第1号 委員の議席の決定について
 - 日程第2 教委第2号 教育長職務代理者の指名について
- 5 議事
 - 日程第3 議第9号 学校運営協議会委員の任命について(非公開)
- 6 報告事項
 - (1) 臨時代理処理事項の報告について(非公開)
 - (2) 藤島地域義務教育学校整備の進捗について
 - (3) 新図書館整備の進捗について
 - (4) 新学校給食センター整備の進捗について
 - (5) 荘銀タクト鶴岡 第19回公共建築賞「地域特別賞」の受賞について
 - (6) アートフォーラム特別展覧会 没後50年記念 棟方志功展について
 - (7) 藤沢周平記念館 開館15周年記念企画展『喜多川歌麿女絵草紙』の世界 -歌麿と蔦重- について
 - (8) 「つるおか健康ポイント」について

(9) その他

7 その他

開 会 (午後3時)

- 管理課長 会議開会前に報告する。教育長の任命について先の3月市議会で議会同意をいただき、4月1日付けで新たに成澤和則氏が教育長に就任された。教育長より挨拶をお願いする。
- 教育長 (教育長挨拶)
- 管理課長 次に、新年度初めての教育委員会定例会であるので、自己紹介を行う。事務局から、教育部長、各課管理職の順で、その場で起立し、自己紹介をお願いする。
- (順次、席順で自己紹介)
- 管理課長 次に、委員からもお願いする。百瀬委員から順をお願いする。
- (順次、委員番号順で自己紹介)
- 教育長 それでは、ただいまから令和7年度の4月定例教育委員会を開会する。本日は、議事の前に協議事項がある。初めに、日程第1教委第1号委員の議席の決定について諮る。
- 委員の議席については、1番百瀬委員、2番清野委員、3番中村委員、4番小林委員としてよろしいか。
- 各委員 異議なし。
- 教育長 では、ただいまのとおり議席を決定する。今後は、この議席で委員会を進めていくが、会議の場にとどまらず、委員会運営上の様々な面でこの議席順を適用していくので、よろしく願います。
- それでは次に、日程第2教委第2号教育長の職務代理者の指名について、事務局の説明をお願いする。
- 管理課長 教育長職務代理者については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条に規定があり、教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、あらかじめ教育長が指名する委員がその職務を行うとされているものである。
- 教育長 ただいま事務局より説明があった職務代理者については、百瀬委員を指名する。
- 1番委員 (了承)
- 教育長 よろしく願います。次に市民憲章唱和を行う。
- (管理課長が先唱し市民憲章を唱和)
- 本日の会議録署名委員は、3番中村委員に願います。
- それでは議事に入る。日程第3議第9号については人事案件のため、非公開とすることに異議はないか。
- 各委員 異議なし。

教育長 異議なしと認め、議第9号は非公開とする。
(会議録は別記録とする。)

教育長 予定された議事は以上である。次に、報告事項に入る。
報告事項(1) こちらも人事案件が含まれるため、引き続き非公開とすることに異議ないか。

各委員 異議なし。

教育長 異議なしと認め、報告事項(1)も非公開とする。
(会議録は別記録とする。)

教育長 次に、報告事項(2)について、事務局より報告をお願いする。

管理課長 昨年12月の教育委員会における施設一体型の義務教育学校を設置する方針の決定を受け、設立準備委員会を設置し、教育課程等の検討を進めていく。
また、新校舎建設については、敷地測量等を行う予定である。
スケジュールとしては、現在の案だが、設立準備委員会を令和7年度に立ち上げ、令和8年度、令和9年度の3ヵ年で準備を予定している。あくまでも予定であるので、今後変更となる可能性もあることを申し添える。
市長部局へは、昨年度から、予算の提案等を、随時行っている。
教育委員会においては、令和6年度に方針を決定したことから、今後も進捗等を報告しながら、令和9年度に学校設置計画の議決を想定している。
また、建設関係は、現在の案で、令和6年度に、中学校の耐力度調査を完了し、今年度、調査測量、令和8年度から基本実施設計を行い、令和10年度から、校舎の設計工事、令和14年度の竣工を目指す。外構工事については、令和12年度から開始して、令和16年度の完了を予定している。
続いて設立準備委員会における検討の内容だが、1つ目が校名、校歌または校章に関する事。2つ目が教育課程・環境に関する事。3つ目が地域事業の調整に関する事。4つ目がその他必要な事項の調整、同窓会スポーツ少年団、学童などを想定している。

教育長 ただいまの報告に質問、意見はあるか。
なければ次に報告事項(3)について、事務局より報告をお願いする。

図書館長 令和7年度の新図書館整備について、昨年度末の教育委員会で基本構想を可決いただき、今年度はそれを具体化させた基本計画の策定へ向かう。
検討体制として庁内の体制、それから図書館整備のアドバイザーの他に、今年度新たに、図書館に併設している郷土資料館のあり方について

も、検討が必要であるということで、専門家の方を含めて、4名に委員を依頼している。

こういった方からアドバイスをちょうだいしながら、庁内で基本計画の案を取りまとめていく。

加えて、庁外では、こちらも企画懇話会をトップにし、市民対話を重ねていき、基本計画の案を策定、練り上げていく。

スケジュールについては、図書館懇話会を12月までに4回程度を予定している。各回のひと月前に郷土資料館のあり方検討会を開催し、そこでの意見を懇話会へ反映させていく。令和15年度の開館を目指す。

今年度策定する計画に盛り込む主な内容について申し上げる。

1点は整備計画で、具体的にどのような図書館、どのような複合する機能を盛り込むか、用地をどこにするか、などの具体的なところを今年度決めていきたい。また、運営サービスの計画、どのような図書館サービスを行うか。それから市民対話のまとめ、今年度も市民対話を続けていく予定であるので、計画の方にも盛り込んでいきたい。さらに、郷土資料館の将来像。これについても今年度、新たな分科会を立ち上げ検討していく。最後に官民連携手法の検討。ここまでを基本計画の中で協議をしていきたいと考えている。また、進展あれば教育委員会等で報告する。

教育長

ただいまの報告に質問、意見はないか。

なければ次に報告事項（4）について、事務局より報告をお願いします。

学校給食センター所長

先週プレスリリースを各委員にお送りしたが、給食における食や農業に関する教育、地産地消の推進、新センターの整備検討を進めるため、この度「学校給食・食農教育推進本部」を設置し、4月22日に第1回会議を開催した。

こちらの本部設置について、現在の鶴岡学校給食センターは建設から40年弱が経過し、老朽化が進んでおり、改築が必須となっている。このため、令和元年から2年にかけて「給食のあり方検討会」で提言をまとめ、令和4年度に「基本構想」を策定した。令和6年度には基本構想を具現化し、建設場所や施設規模、運営主体のあり方を示した「基本計画」の検討を進めたが、3月議会での質疑やパブコメの結果を踏まえ、年度内での策定は見送ることとした。

このため、令和7年度に改めて対応することとし、市長を本部長、教育長を副本部長とし、学校の先生、保護者、調理関係者、食材生産者、学識経験者10人の委員からなる「学校給食・食農教育推進本部」を立上げ、給食に関する重要事項について、検討を深めていく。

議論する主な内容としては、食農教育・地産地消、アレルギー対応、調理運営主体などを想定し、各回テーマを設けての協議を考えている。

この推進本部で出された協議・意見を踏まえて、基本計画の策定作業を進め、検討結果については、随時こちらの定例教育委員会や総合教育会議に報告する。

スケジュールとしては、年内に5～6回程度の会議開催を予定し、9月には中間報告、年内を目途に基本計画（案）を固め、市議会説明やパブリックコメントを経て、教育委員会から議決をいただき、来年3月末には公表できるよう議論を進めていく。

第1回会議では、学校給食における食農教育・地産地消の推進について協議を行った。事務局では、鶴岡給食センターでの現状として、生産団体と協定を締結し地場食材を確保していることや、行事食や郷土料理を献立に積極的に取り入れている取り組みを紹介した。

委員からは、給食における地産地消、子どもたちへの農業や食文化への理解促進について、鶴岡市では既に進んだ取り組みを行っており、これからはさらにその特色を磨いていけばいいのではとの意見をいただき、そのためには、地産地消では生産者と給食センターをつなぐコーディネーターが必要であること、また、教育では体験学習が効果的であり、既存の団体・制度の活用などの意見が出された。

この本部会議については、現在議事録をまとめており、今月中にはホームページに掲載するとともに、YouTubeに動画を公開予定である。

教育長

ただいまの報告に質問、意見はないか。

1 番委員

今回推進本部で検討するというところで、私も拝見した。

これまで元年から令和2年で「鶴岡市学校給食のあり方検討会」、そしてそれを基に、令和4年度に「新鶴岡市学校給食センター整備基本構想」を策定し、令和6年度基本計画という流れでやってきたが、そういう流れででき上がった整備基本計画というものを生かしながら、それをベースにしながら、これからの推進本部の検討がなされていくのか、まるっきり白紙の感じも受けたので、どの辺からスタートするのか、今までの検討は何だったのかと感ずるところがあった。

そうでないのであれば、今までのベースにしながら行くのだということなのかどうか伺う。

学校給食センター所長

当然、あり方検討会や基本構想は学校給食センターの理念的な部分について定めたものだが、それを具体化するにあたり、設置場所や調理主体、今は直営で行っているが、そういったことについて再度、今回議論を深めようとしている。

そのため、令和2年度のあり方検討会や基本構想は、当然これからの基本計画のベースになるものと考えている。

その上で、鶴岡市らしい給食だとか、給食センターとは少し離れたとこ

ろにあるが、地産地消だとか、そういったものを関係部署と連携しながら進めていき議論を深めていこうとしているということである。

教育長

まずは、これまで行ってきた基本計画に関わる部分も充分踏まえながら、そして、新たに組織した学校給食・食農教育推進本部での議論で深めていき、再度基本計画を策定していくという流れになる。

実際に 22 日に行われた推進本部では、様々な分野からたくさんの意見をいただいた。これからの学校給食の充実を考える上で、大変参考になる意見が多く出た。

まずこれから、9月の中間まとめまで回数重ねていくわけだが、その意見も生かしながら、基本計画の中間報告を上げていくというような流れになる。よろしいか。

教育長

ほかに質問、意見はないか。なければ、次に報告事項（5）と（6）について、事務局より一括で報告をお願いします。

社会教育課長

はじめに、荘銀タクト鶴岡の受賞について報告する。

このたび、平成 30 年 3 月に開館した鶴岡市文化会館（荘銀タクト鶴岡）が、一般社団法人・公共建築協会による、第 19 回公共建築賞「地域特別賞」を受賞した。

「公共建築賞」とは、「優れた公共建築を表彰することにより、公共建築の総合的な水準の向上に寄与すること」を目的として、一般社団法人・公共建築協会が昭和 63 年に創設し、隔年で表彰を行っているものである。

応募総数は全国で 114 施設あり、鶴岡市文化会館は、今回の審査で、全国 8 施設が選ばれた「地域特別賞」のうち、東北地区における受賞が決定した。次の審査段階となる、公共建築賞「国土交通大臣表彰」の候補である「優秀賞」33 施設には残念ながら含まれなかった。

このたびの受賞理由としては、企画、設計、施工が優れていることはもとより、地域社会へ貢献し、文化による新たな交流を創出したことや、施設の管理、運営、保全が良好に行なわれていることが評価された。

なお、市有施設における過去の受賞歴としては、鶴岡アートフォーラムが平成 22 年に第 12 回公共建築賞「優秀賞」（公共建築協会会長表彰）を受賞した。

文化会館については、今回の受賞を励みに、今後もより良好な施設管理運営のもと、市民により開かれた施設となるよう取り組んで参りたい。

続いて、鶴岡アートフォーラム特別展覧会の開催について説明する。

鶴岡アートフォーラムでは、鶴岡市合併市制施行 20 周年と開館 20 周年を記念して、4 月 19 日から 5 月 25 日（日）までの会期で、特別展覧会「没後 50 年記念 棟方志功展—至高の板画（はんが）・珠玉の倭画（やまどが）—」を開催している。

この展覧会は、令和6年3月で惜しまれつつ閉館した棟方志功記念館と、青森県立美術館が所蔵する名品約60点と関連資料を紹介するもので、青森で芸術家を志し、試行錯誤を繰り返しながら、独自の強固なスタイルを切り拓き、世界的な評価を得ていく棟方の画業を、「板画(はんが)」と「倭画(やまとが)」という大きな2つの枠組みから紹介し、その魅力に迫っている。また、高い人気を博した本の装丁や長く親しまれてきた包装紙の図案、さらには文学者を多く輩出している鶴岡の地域性を踏まえて、文学を題材にした作品も特集して展示している。会期中のイベントとして、ギャラリートークや美術講座など、より作品への理解を深められる企画も実施する。

板画、倭画、油彩画、デザインなど、多岐にわたる仕事をとおして、多くの人々の心を捉え、高い人気を博した棟方芸術の精華を余すことなく伝えていくので案内する。周知についてもよろしく願います。

教育長

ただいまの報告に質問、意見はあるか。

私もテープカットをしてそのあと作品を拝見した。本当に棟方志功のエネルギー溢れる生命躍動感がすごく感じられる、とても素晴らしい展覧会だと思うので、まだの方はぜひ足を運んでいただければと思う。

次に、報告事項(7)について、事務局より報告をお願いします。

藤沢周平記念館長

記念館では只今、開館15周年記念企画展喜多川歌麿女絵草紙の世界一歌麿と蔦重一を開催し、藤沢氏の自筆原稿や創作メモに加え本物の歌麿の浮世絵も展示し、江戸の出版界の情勢とともに作品の魅力を紹介している。

来る4月29日(火)は開館15周年を迎え、開館15周年を記念し入館料無料とし多くの皆様をお迎えしたい。委員へもぜひ案内する。

教育長

ただいまの報告に質問、意見はあるか。

なければ次に報告事項(8)について、事務局より報告をお願いします。

スポーツ課長

この事業は、市民の健康・運動に関係する事業等への参加に対して、つるおか健康ポイント事業としてポイントを付与することで、楽しみながら健康づくりに取り組み、健康増進や体力づくりへの関心、意欲向上を図ることを目的としている。スマートフォンアプリのLINEを活用し、昨年9月から試験運用を図り、今月1日から本格的にスタートしている。

参加対象は、18歳以上の市民又は在勤の方で、期間は4月1日から12月31日までの9ヶ月間である。ウォーキング等の運動、人間ドックやがん検診など健康診断の受診、健康づくり、運動に関するイベントへの参加など多岐にわたり対象事業とし、該当するポイントを貯める仕組みとなっている。そうして貯まったポイントは、40ポイントごとに抽選応募可能で、1人につき120ポイント貯めて最大3回まで応募ができる。なお、抽選は来年の2月に行い、当選された方には3,000円相当の鶴岡特産品や、1,000円の

商品券等の記念品を2月から3月にかけて引き渡しする。LINEによる参加登録を推奨しているが、スマホを持っていない方、またLINEをしない方のために紙ベースのポイントカードも準備している。できるだけLINEでの登録を促すため、参加登録の際10ポイント付与の有無で紙のポイントカードとの差をつけている。

ポイント対象事業ごとにポイント数が決まっており、LINEの画面を進んでいくと、都度選択する指示が出てくるので、該当する箇所をタッチしていきポイント取得までたどり着くものである。

この事業の実施主体は、市の健康課と、スポーツ課が事務局を担当するてくてくウォーク推進協議会の二者が担っているが、教育委員の皆様からもぜひこの事業に参加いただき、健康づくりをしながら多くのポイントを獲得いただきたい。

なお、本日現在でLINEからの参加登録者数は565名となっている。今後も周知を図りながら参加者を増やしていきたい。

教育長

ただいまの報告に質問、意見はないか。

LINE登録者の565名増えてますね。

スポーツ課長

4月1日から開催しているが、今日も体育館に直接いらした方へLINEを設定して差上げた。

教育長

ほかに意見、質問はないか。

なければ、その他、報告事項はないか。

委員の皆様から何かあるか。

ないようなので、これをもって4月の定例教育委員会を終了する。

閉 会 (午後4時20分)